



試行版サタセン

次年度に向けて取り組んでいます！【お知らせ&ご報告】

中学校音楽科

9月より月1回開催し、次回で第4回目になります。12月のサタセンは「創作」をテーマに実施します。小学校の先生方の御参加も歓迎します！

- 日時：12月12日(土) 14:00~16:30
- 場所：教育センター大研修室
- 申し込み：教育センター教育課程支援担当 釋^{しやく} まで (0952-62-5238)

★「サタセン」とは…

教育センターでは、平成28年度から土曜日を活用した自主参加による研修会(「サタデー・センター」、略して「サタセン」)を企画しています。

今年度はその試行に取り組んでいるところです。

高校生物

(11/7 午後実施)

「発酵についての授業づくり」

教職1・2年目の生物担当の先生方を対象に、「化学と人間生活」授業づくりについて、「発酵」をテーマに実施しました。ゼミ形式で実施したことで活発な議論をすることができました。

高校数学科

(11/28 午後実施)

「アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業」

10月上旬に3日にわたって東京大学で行われた栗田佳代子准教授による研修会の内容を踏まえて、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた授業について提案しました。



参加者の方からは「土曜日の午後の参加しやすい時間帯に研修を受けられてありがたい」等のご意見をいただいています！

各研究協力校で今年度最後の授業が行われました！

今年度、各研究協力校(春日北小学校・大和中学校・致遠館高等学校)において、合計19本の講座授業を行いました。ご協力いただいた各学校の先生方、また講座授業・授業研究会にご参加いただいた先生方に感謝いたします。今回は10月末以降に実施した最後の5本の講座授業について紹介します。

小学校、中学校、高校の講座授業の様子を紹介します！

小

小学校特別活動講座(「学校における多様な集団の生活の向上」の指導)…10月29日(木)



「係あいあい会議」で活動の良さを話し合う児童

議題「1年生と一緒に『みんな笑顔フェスタ』をしよう」について、計画・立案、話し合い活動、実践を行った児童に、活動を振り返らせる授業を提案しました。自分たちの活動のよさを見つけ合い、「学級の宝」として価値付けることで、互いに認め合い、次の活動への意欲を高めることをねらいとしました。最後に発表をした児童は、「Aさんは、1年生のことを考えて、おりがみをたくさん作ってくれたね。ありがとう。私は、宝をたくさん使えるようにしたい。これから、たくさん宝が使えるような3の1をつくらうね。」と、意欲的な感想を言っていました。

<受講者の声>

- ・学校行事に追われ、学級会の時間がなかなか設定できていないが、改めて学級会の大切さを感じ取ることができた。普段、何気なく行っている活動も、教師の価値付け次第で、よりよい活動に変化させられる気がした。
- ・積極的に活動する子供たちの姿がとても印象的だった。教師の事前活動での手厚い準備、子供たちへの視点の持たせ方、活動に対する意欲付けのすばらしさに感動した。また、子供たちが同じ目標に向かって進めるような教師側のサポートについても学ばせてもらった。今後、必ず実践したい。

中**中学校音楽科Ⅱ講座(音楽文化の理解につながる鑑賞領域の授業づくり)…11月6日(金)****活発に発言していました!**

中学校第1学年において、ヴィヴァルディ作曲「春」の鑑賞の授業を行いました。音楽の特徴を背景となるバロックの絵画・建築等の他の芸術と関連付けて捉える授業を提案しました。普段、中学校での鑑賞授業の導入に扱われることが多い「春」を、この時期だからこそできる授業の提案ができたと思います。バロックの芸術と「春」の特徴を関連付けてグループで話し合う場面では、学習用PCで音楽を聴き、旋律等の特徴を確認しながら活発に話し合い活動を行っていました。

<受講者の声>

- ・今までと違った視点で「春」の授業が行われていて大変勉強になった。授業者の生徒に対する声掛け、生徒の言葉(つぶやき)を拾ってまとめること、ICTの活用等とても参考になった。
- ・自分が行っている「春」の授業と比較して、指導事項を増やして別の視点で展開され、とても参考になった。
- ・センター所員の授業と、子供達が積極的に参加する様子に学び、エネルギーを頂いたように感じた。学び続けることの重要性を忘れてはいけないと思った。

**学習用PCで、曲の中で気になる箇所を繰り返し確認****高****高校家庭科Ⅱ講座(思考力・判断力・表現力を高める授業づくり)…10月27日(火)**

思考力・判断力・表現力を高める授業づくりとして、「知識構成型ジグソー法」を取り入れました。生活者としての視点をもちやすいように、身近な佐賀県の課題について取り上げるとともに、グループ活動を通して言語活動の充実を図りました。グループでの活動の際には、生徒同士の意見を共有しやすいように

**OneNoteでのグループ活動**

OneNoteを使用しました。実際の生活課題についてグループやクラス全体で意見を共有することで、生徒は地域の一員としての視点をもって生活することの大切さを感じたようでした。また、受講者にとっては、学習用PC活用の効果や課題について考えていただく機会にもなったようです。

**課題の提示とジグソー法の説明****<受講者の声>**

- ・OneNoteの効果的な使い方を見ることができ、授業でどう取り入れるか考えるよい機会になった。
- ・授業研究会では、協議の柱に沿って話し合うことで、自分では思い至らなかった点についても考えることができた。

「知識構成型ジグソー法」については、CoREF(大学発教育支援コンソーシアム推進機構)HPをご覧ください。

<http://coref.u-tokyo.ac.jp/archives/14883>

高**高校化学講座(主体的に問題解決を図る能力と態度を育てる授業づくり)…10月28日(水)****温度変化の観測結果をグループで学習用PCに入力**

尿素の溶解熱を実験により求め、文献値と比較してなぜ違うのかということを考える活動を通して、生徒が主体的に問題解決を図ろうとするアクティブ・ラーニングを取り入れた授業を提案しました。生徒の感想に「実験の結果から考えるのも楽しかった」「問題で解く内容を深く理解できた」とありました。また、実験の結果について、学習用PCを使って処理するという点についても紹介できました。

<受講者の声>

- ・ICTの利活用や実際の実験に触れることができとてもよかった。学習用PCなどを活用しながら自分の授業にもアクティブ・ラーニングを取り入れていきたい。
- ・普段、一人で授業の準備・実践をしているので、積極的に講座等に参加してさらに勉強していかなければならないと感じた。
- ・授業を含めて講座の中で実験が多く取り上げられているのは非常に嬉しい。

**生徒が作成した温度変化グラフについての解説**



ICTを活用した背景知識の活性化

リーディングを通して、①生徒にテキストの内容を正確に理解させること、②読み取った内容を自分に反映して思考させることをねらいとし、ICTによる視覚的情報の提示のタイミングを図りました。リーディング指導の各段階に応じて、ICTを有効に活用するとともに、発問構成を工夫することで、生徒の背景知識を活性化させたり、場面をイメージして全体像をつかませたりする効果もありました。ICTによる視覚的支援と発問に対する応答で、生徒はテキストの主題を読み取り、思考したことを表現することができていました。授業研究会での活発な協議から、ICTの活用法や発問構成、またワークシート等に関して多くの意見をいただきました。

<受講者の声>

- ・語句の確認を行う際に、イメージを可視化するためのツールとしてICTを活用してみようと思う。今後は、効果的な場面を選定して活用していきたい。
- ・電子黒板と学習用PCのそれぞれの使い分けと、教師の効果的な発問により、授業がより良くなったと思った。
- ・研究授業では効果的な電子黒板の使用方法を見ることができた。「自分だったらこう使うだろう」と自分の授業を振り返る良い機会になった。



活発な議論が行われた授業研究会

教育センターWeb「講座授業事例集」を更新しました！

教育センターWebコンテンツ「講座授業事例集」は、教育センターの教科・領域に関する講座授業の学習指導案や授業で使用したワークシート等を掲載しており、教育センターWebの中で最もアクセスが多いコンテンツです。今後も、授業づくりの参考としてご活用ください。

教科・領域	学年	単元・題材
国語	3年	聞いてくれてありがとう
社会	6年	3人の武将と天下統一 ～信長・秀吉・家康～
算数	4年	倍の計算
生活	2年	つくって、あそんで
図画工作	6年	発見！神奈川沖浪裏
外国語活動	5年	Lesson5 友だちにインタビューしよう

今回、追加した小学校の授業事例

教育センターWebトップページ



↓クリックで直接アクセスできます
http://www.saga-ed.jp/tanken/kouza_jirei/

学習指導案・ワークシート等のダウンロードはこちらから！

学習指導案

ワークシート

その他資料

学習指導案

スピーチ原稿・振り仮名用紙 (B5サイズに拡大して使用)

小学校第3学年 国語科学習指導案

日時 平成27年6月19日(金) 2校時
 指導者 教育センター所長 山内 ともこ

1 単元名 聞いてくれてありがとう

参考教材名 「話したいな、うれしかったこと」(東京書籍 3年上)
 「よい聞き手になろう」(光村図書 3年上)

2 単元について
 (1) 児童観
 本学級の児童は、これまでに自作のクイズを出し合ったり、宝物を見せて紹介し合ったりする学習をしてきており、相手に応じて、話す事柄を相手立て、言葉遣いや話す速さなどに気を付けて話したり、大事なことを落とさないようにしながら聞いたりすることはできるようになってきている。また、学校全体の「話しあふ会」で「聞きあひだり」の講座・题型に自った話し方や聞き方を学んで話したり聞いたりすることができている。しかし、相手に気を付けて聞いたり、質問をしたり感想を述べたりする。

ワークシート

スピーチをしよう

テーマ
 わたしのすきなべんきよう

話し手のため
 「すきなわけ」を話そう。

お手本のスピーチ
 ①わたしのすきなべんきよう
 ようは、園工です。
 ②わけは、ねん土・動物
 を作るのがとくいだからです。

あなたのスピーチ

3月には9月以降実施した小学校3本、中学校6本、高校4本、計13本の事例を公開する予定です！